

甲府富士屋ホテル 1F グランドホール

一般演題6 「神経障害・再生」

7:30~8:20

座長：高橋 淳 (京都大学)

川瀧 智之 (山梨大学)

O6-1 抗多剤耐性菌薬 Colistin の HSP90 凝集誘発作用と神経毒性との関連

¹秋田大学大学院 脳神経外科、²秋田大学理工学部 生命科学科、
³秋田大学大学院 血液・腎臓・膠原病内科、⁴秋田県立脳血管研究センター 脊椎脊髄外科診療部
富樫俊太郎¹、高橋京介²、田村ありさ²、豊田郁美²、畠山詩織²、小松田敦³、工藤 生²、
工藤絵里奈¹、岡本知也²、羽賀愛沙美²、宮本明日香²、Eva Grave²、菅原 卓⁴、清水宏明¹、
伊藤英晃²

O6-2 HTRA1 遺伝子の 5' 非翻訳領域に新規変異を認めた脳小血管病

¹甲府脳神経外科病院 脳神経外科、²東京女子医科大学東医療センター 脳神経外科、
³東京女子医科大学 統合医科学研究所
恩田英明^{1,2}、赤川浩之³、米山 琢²、糟谷英俊²

O6-3 マウス脊髄損傷後神経細胞障害における FABP7 の役割

¹山梨大学医学部 脳神経外科、²東北大学医学部 器官解剖学
仙北谷伸朗¹、吉岡秀幸¹、八木 貴¹、金丸和也¹、大和田祐二²、木内博之¹

O6-4 Nuclear factor kappa b セリン 276 残基のリン酸化は L-ドーパ誘発性ジスキネジア発症に関与する

¹徳島大学大学院医歯薬学研究部 脳神経外科、
²徳島大学病院パーキンソン病・ジストニア治療研究センター
³徳島大学大学院医歯薬学研究部 神経病態解析学、⁴徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経内科学
⁵徳島大学大学院医歯薬学研究部 難治性神経疾患病態研究
森垣龍馬^{1,2}、小川允利³、牟礼英生^{1,2}、宮本亮介^{2,4}、後藤 恵^{2,5}

O6-5 うつ病モデルラットに対するカプセル化間葉系幹細胞移植の有効性

¹岡山大学大学院 脳神経外科、²吉備国際大学 心理学
金 恭平¹、安原隆雄¹、富田陽介¹、馬越通有¹、桑原 研¹、金 一徹¹、守本 純¹、
岡崎三保子¹、佐々木達也¹、亀田雅博¹、田尻直輝^{1,2}、伊達 勲¹

O6-6 新規骨再生材料リン酸オクタカルシウム/コラーゲン複合体を用いたイヌの頭蓋骨再生

¹東北大学大学院医学系研究科 神経・感覚器病態学講座神経外科学分野
²東北大学大学院歯学研究科 口腔病態外科学講座顎顔面・口腔外科学分野
³東洋紡株式会社、⁴東北大学大学院医工学研究科 生体再生医工学講座骨再生医工学分野
佐々木貴史¹、新妻邦泰¹、松井桂子²、川井 忠²、中越琢也³、佐々木和夫³、鎌倉慎治⁴、
富永悌二¹

O6-7 ラクナ梗塞モデルに対する新規多能性幹細胞 (Muse 細胞) の治療効果

¹東北大学大学院医学系研究科 神経外科学部分野、²東北大学大学院医学系研究科 細胞組織学分野
内田浩喜¹、新妻邦泰¹、坂田洋之¹、藤村 幹¹、出澤真理²、富永悌二¹

座長：黒岩 敏彦 (大阪医科大学)
佐藤 秀光 (神奈川県立がんセンター)
横上 聖貴 (宮崎大学)

- O7-1 HRMによるMGMTメチル化評価はMSPよりも優れている
宮崎大学医学部臨床神経科学講座 脳神経外科学分野
山下真治、横上聖貴、齋藤清貴、松元文孝、Asya Ivanova、水口麻子、上原久生、竹島秀雄
- O7-2 HRM法を用いた神経膠腫のTP53変異解析
宮崎大学医学部臨床神経科学講座 脳神経外科学分野
齋藤清貴、横上聖貴、山下真治、水口麻子、松元文孝、竹島秀雄
- O7-3 高解像度融解曲線の2階微分解析による、グリオーマ点変異の高精度判定：HRM-MI法
¹九州大学大学院医学研究院 脳神経外科、²北九州市立医療センター 脳神経外科
秦 暢宏¹、波多江龍亮¹、吉本幸司¹、空閑大亮¹、雨宮健生¹、赤木洋二郎¹、三月田祐平¹、
溝口昌弘²、飯原弘二¹
- O7-4 Small lab でも可能な glioma の PCR-based molecular analysis
宮崎大学医学部臨床神経科学講座 脳神経外科学分野
横上聖貴、山下真治、水口麻子、齋藤清貴、松元文孝、竹島秀雄
- O7-5 術中迅速診断への mass spectrometry の応用
¹東北大学大学院 神経外科学分野、²東北大学病院 薬剤部、³東北大学病院 病理部、
⁴山形大学 脳神経外科
金森政之¹、前川正充²、齋藤竜太¹、渡辺みか³、園田順彦⁴、富永悌二¹
- O7-6 C-myc 高発現髄芽腫に対して EZH2 阻害剤を用いた新規治療戦略
¹新潟大学脳研究所 脳神経外科、²Johns Hopkins 大学 神経病理学分野、³大分大学 小児科
棗田 学^{1,2}、宮原弘明^{2,3}、吉村淳一¹、大石 誠¹、藤井幸彦¹、Charles G. Eberhart²
- O7-7 頭蓋底髄膜腫における遺伝子変異に基づいたプロファイリング
東京大学医学部 脳神経外科
岡野 淳、宮脇 哲、寺西 裕、武笠晃丈、辛 正廣、中富浩文、齋藤延人
- O7-8 神経線維腫症2型の遺伝的背景解明に向けた変異遺伝子解析および臨床解析
東京大学 脳神経外科
寺西 裕、宮脇 哲、岡野 淳、高柳俊作、武笠晃丈、中富浩文、齋藤延人

座長：難波 宏樹 (浜松医科大学)

- SL2 グリア性虚血耐性とその分子メカニズム
山梨大学大学院総合研究部医学域 薬理学講座
小泉修一

座長：田宮 隆 (香川大学)
中田 光俊 (金沢大学)
夏目 敦至 (名古屋大学)

- KS2-1 キーノートレクチャー ポストゲノム時代に我々の進む道
名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科
夏目敦至
- KS2-2 Investigations to establish patient-derived brain tumor model for exploring specific therapeutic target
横浜市立大学大学院医学研究科 脳神経外科学
立石健祐、中村大志、末永 潤、村田英俊、山本哲哉
- KS2-3 脳室下帯放射状グリア細胞、およびアストロサイトへの選択的癌遺伝子導入によるマウス膠芽腫モデル作成と Girdin の腫瘍幹細胞様細胞ニッチでの役割
¹名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科、²名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学
加藤 彰¹、大岡史治¹、Melissa Ranjit¹、浅井真人²、浅井直也²、榎本 篤²、高橋雅英²、若林俊彦¹、夏目敦至¹
- KS2-4 *PIK3R1* germline mutation は glioblastoma multiforme における *CCN1* 発現および予後と相関する
¹岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科、²岡山大学 中性子医療開発センター
畝田篤仁¹、大谷理浩¹、黒住和彦¹、藤井謙太郎¹、清水俊彦¹、富田祐介¹、服部靖彦¹、松本悠司¹、道上宏之²、市川智継¹、伊達 勲¹
- KS2-5 小脳 diffuse glioma のゲノム、エピゲノム解析
¹東京大学医学部 脳神経外科、²東京大学 先端科学技術研究センターゲノムサイエンス分野、³横浜市立大学医学部 脳神経外科、⁴東京女子医科大学 脳神経外科、⁵国立がん研究センター中央病院 脳脊髄腫瘍科、⁶杏林大学医学部 脳神経外科、⁷獨協医科大学 脳神経外科、⁸埼玉医科大学国際医療センター 脳脊髄腫瘍科、⁹杏林大学 病理学教室
野村昌志^{1,2}、武笠晃丈¹、高橋 慧¹、根城堯英¹、高柳俊作¹、田中將太¹、中村大志³、村垣善浩⁴、成田善孝⁵、永根基雄⁶、植木敬介⁷、西川 亮⁸、柴原純二⁹、油谷浩幸²、齊藤延人¹
- KS2-6 RET finger protein に伴う膠芽腫の転写機構スーパーエンハンサーの解明
¹名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科、²名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学
夏目敦至¹、平野雅規¹、Melissa Ranjit¹、山道 茜¹、青木恒介¹、大岡史治¹、榎本 篤²、高橋雅英²、若林俊彦¹
- KS2-7 BRAF V600 変異を有する成人高悪性度神経膠腫の臨床病理学的検討
北海道大学大学院医学研究科医学部 脳神経外科
伊師雪友、山口 秀、吉田道春、茂木洋晃、小林浩之、寺坂俊介、寶金清博
- KS2-8 悪性グリオーマに対する Ad-SGE-REIC 治療法の開発
¹岡山大学大学院 脳神経外科、²岡山大学 ナノバイオ標的医療イノベーションセンター
黒住和彦¹、岡 哲生¹、市川智継¹、大谷理浩¹、清水俊彦¹、富田祐介¹、服部靖彦¹、公文裕巳²、伊達 勲¹

特別講演3

11:25~12:10

座長：若林 俊彦（名古屋大学）

SL3 悪性脳腫瘍とTGF- β の機能山梨大学医学部・大学院総合研究部（医学域） 生化学講座第2教室
宮澤恵二**ランチョンセミナー2**

12:10~13:00

座長：嘉山 孝正（山形大学）

LS2 グリオーマ浸潤：最新の分子生物学的知見金沢大学医薬保健研究域医学系 脳・脊髄機能制御学
中田光俊

共催：MSD株式会社

学会賞授賞式・受賞講演

13:00~13:25

司会：木内 博之（山梨大学）

一般演題8 「グリオーマ3」

13:25~14:15

座長：吉野 篤緒（日本大学）

市川 智継（岡山大学）

O8-1 髄膜播種をきたした epithelioid glioblastoma に対して BRAF 阻害剤と MEK 阻害剤の併用療法が奏効した一例¹新潟大学脳研究所 脳神経外科、²新潟大学脳研究所 生命科学リソース研究センター
金丸 優¹、棗田 学¹、齋藤太希¹、佐藤大輔¹、村井志乃¹、塚野 淳¹、野澤孝徳¹、
安藤和弘¹、阿部英明¹、塚本佳広¹、大石 誠¹、柿田明美²、藤井幸彦¹**O8-2 脳腫瘍に対するニトロソウレア剤局所投与：ACNUの有用性に関する基礎的研究**東北大学 脳神経外科
齋藤竜太、Jia Wenting、佐藤綾耶、奥野さおり、中村太源、長南雅志、Rong Zhang、
Xiaoliang Yang、金森政之、富永悌二**O8-3 膠芽腫細胞に対する高純度NK細胞とTMZの併用による抗腫瘍効果とその機序の解析**¹奈良県立医科大学 脳神経外科、²グランソール免疫研究所、³グランソール奈良
至田洋一¹、中澤 務^{1,2}、中村光利¹、辻村貴弘³、田中祥貴¹、竹島靖浩¹、松田良介¹、
田村健太郎¹、山田修一¹、中川一郎¹、西村文彦¹、横田 浩¹、本山 靖¹、朴 永録¹、
中瀬裕之¹**O8-4 マウス脳腫瘍モデルを用いた、in vivo 環境での継代によるHSV1の改変**¹Department of Neurosurgery, Brigham and Women's hospital、²岡山大学 脳神経外科
藤井謙太郎²、中島 大²、黒住和彦²、市川智継²、伊達 勲²、E.A. Chiocca¹**O8-5 Glioma に対する第2世代REIC/Dkk-3 遺伝子発現アデノウイルスと bevacizumab の併用効果**¹岡山大学大学院 脳神経外科、²岡山大学 ナノバイオ標的医療イノベーションセンター
服部靖彦^{1,2}、黒住和彦¹、大谷理浩¹、藤井謙太郎¹、清水俊彦¹、富田祐介¹、畝田篤仁¹、
松本悠司¹、市川智継¹、公文裕巳¹、伊達 勲¹

O8-6 共刺激因子CD40とMaternal embryonic leucine zipper kinase (MELK)の相関解析

¹東北大学大学院 脳神経科学分野、²いわき市立総合磐城共立病院 脳神経外科、
³北里大学 脳神経外科、⁴山形大学 脳神経外科、⁵東北大学 病理部、⁶東北大学 免疫学分野
長南雅志¹、齋藤竜太¹、庄司拓大²、柴原一陽³、金森政之¹、園田順彦⁴、渡辺みか⁵、
石井直人⁶、富永悌二¹

O8-7 マウス脳腫瘍モデルにおける葉酸を結合したキトサンナノ粒子を用いたCD146に対するsiRNAのデリバリーによる治療効果

¹高知大学医学部 脳神経外科、²高知大学医学部 薬理学
八幡俊男¹、東洋一郎²、福井直樹¹、川西 裕¹、中城登仁¹、上羽哲也¹

一般演題9 「グリオーマ4」

14:15～15:20

座長：隈部 俊宏（北里大学）
石川 栄一（筑波大学）

O9-1 カルムスチン脳内留置用剤留置後脳組織の病理学的検討

¹北里大学医学部 脳神経外科、²山梨大学医学部 脳神経外科、³北里大学医学部 病理
柴原一陽¹、埴原光人^{1,2}、檀 充¹、佐藤澄人¹、犬飼 円³、原 敦子³、安井美江¹、
隈部俊宏¹

O9-2 IDH mutation gliomaにおける脂質解析の検討

¹自治医科大学 脳神経外科、²自治医科大学子ども医療センター 小児脳神経外科、
³自治医科大学 機能生化学部門、⁴自治医科大学 遺伝子治療部
宮田五月¹、山口 崇¹、黒田林太郎¹、大貫良幸¹、川合謙介¹、五味 玲²、富永 薫³、
坂下英司³、遠藤仁司⁴、卜部匡司⁴、水上浩明⁴

O9-3 膠芽腫幹細胞の放射線治療後代謝特性変化の解析

¹東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科、
²慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所遺伝子制御研究部門、³慶應義塾大学 先端生命科学研究所
藤田 聡^{1,2}、岩淵 聡¹、曾我朋義³、佐谷秀行²、サンペトラ オルテア²

O9-4 RASSF3 functions as a tumor suppressor in glioblastoma

東京医科歯科大学 脳神経外科
工藤琢巳、壽美田一貴、田村郁、前原健寿

O9-5 テモゾロマイド耐性グリオーマ株における耐性機構と相同組み換え能抑制による感受性増強効果

藤田保健衛生大学医学部 脳神経外科
大場茂生、廣瀬雄一

O9-6 第2世代ALK阻害剤アレクチニブは、ALK/JAKファミリー活性非依存的かつSTATファミリー依存的にテモゾロミド抵抗性獲得グリオーマ細胞に細胞死を誘導する

¹防衛医科大学校 脳神経外科、²国立がん研究センター研究所 脳腫瘍連携研究分野
富山新太^{1,2}、山本祐太郎^{1,2}、佐々木重嘉²、熊谷光佑¹、藤井和也¹、豊岡輝繁¹、大谷直樹¹、
和田孝次郎¹、市村幸一²、森健太郎¹

O9-7 自殺遺伝子発現プラスミド導入幹細胞を用いたグリオーマ標的enzyme/prodrugシステムの開発

浜松医科大学 脳神経外科
山崎友裕、釘持博昭、小泉慎一郎、鮫島哲朗、難波宏樹

O9-8 機能的ギャップ結合と自殺遺伝子療法のパイスタンダー効果についての検討

浜松医科大学 脳神経外科

釧持博昭、山崎友裕、小泉慎一郎、鮫島哲朗、難波宏樹

O9-9 上皮間葉転換転写因子とグリオーマ浸潤能への関与

¹山梨大学大学院総合研究部医学域 脳神経外科学、²山梨大学大学院総合研究部医学域 生化学講座第2

鈴木景子¹、川瀧智之¹、齋藤正夫²、宮澤恵二²、木内博之¹

閉会挨拶

15:20～

木内 博之 (山梨大学)